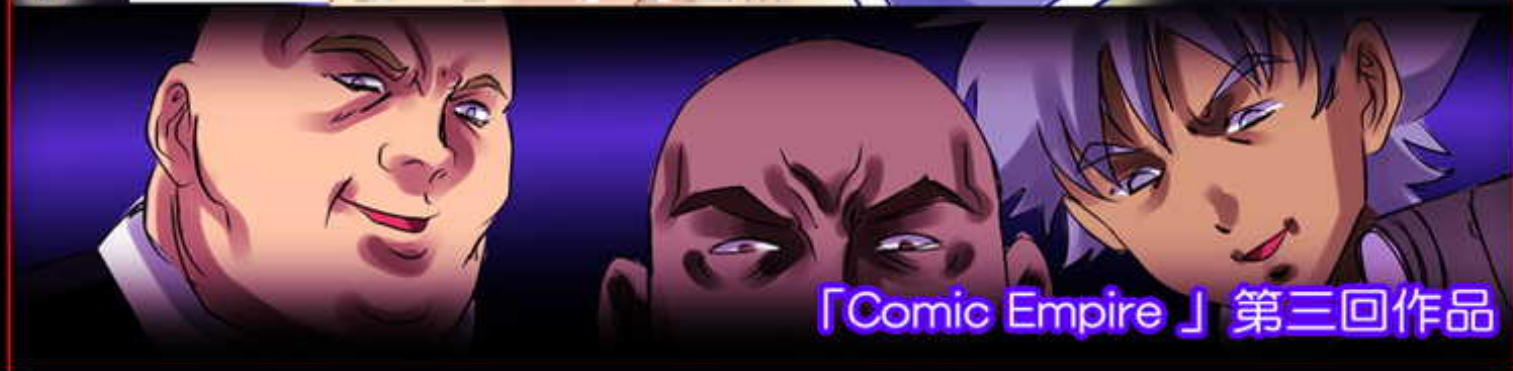


フルカラーデジタルコミック

ROO  
in

「姦獄!ミッドナイトクルージング」



「Comic Empire」 第三回作品



どこまでも  
抜けるような  
青い空…



そして強い日差しも  
心地よい  
地中海の午後…



でも  
今わたし  
の心は…

メラニソールに  
沈んでいる…







ここのお客は  
セレブばかり...



私と仲間たちは...今

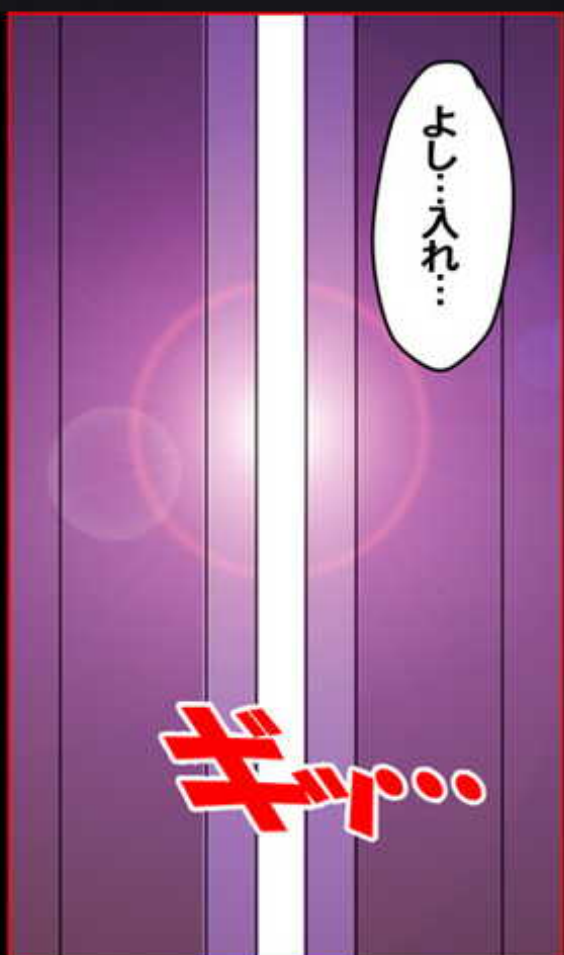
豪華客船の  
カジノに  
雇われている



ザワ...

ザワッ...

もちろん給料は  
普通のカジノとは  
比較にならないほど  
高額だ！



よし...入れ...

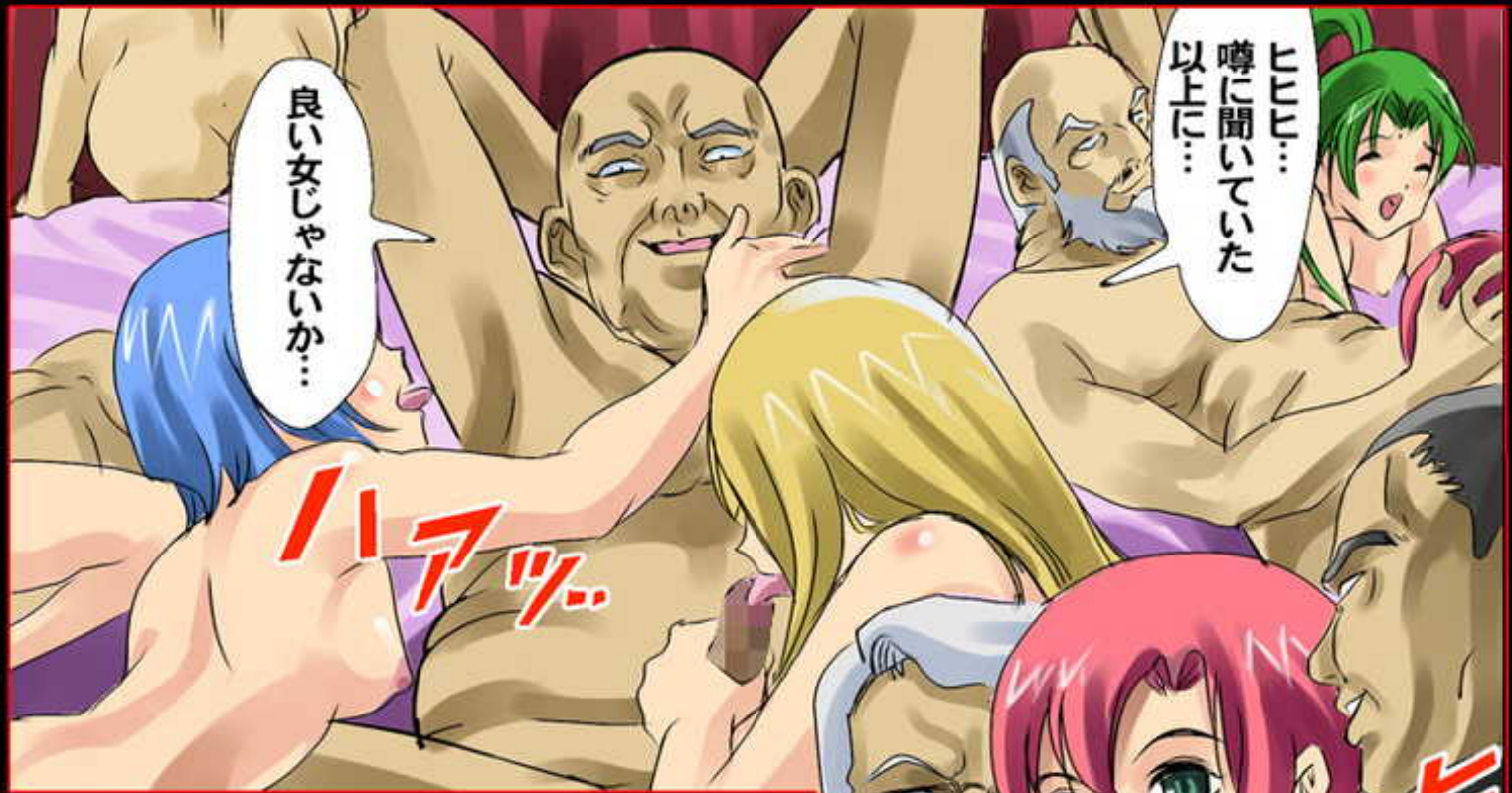
ギョッ...



二人をお連れ  
いたしました

だが法外な高給は  
その仕事だけに  
支払われている  
わけではない！













イクのか...?  
イクって言葉!

ハヒッ!

ハヒッ!  
ハヒッ!  
ハヒッ!  
ハヒッ!  
ハヒッ!

気持ち良くて  
イキそうか?



ヒヒヒ...  
どうだリオ!

ハヒッ!  
ハヒッ!  
ハヒッ!



くさっの  
淫乱女が!

ビュッ!!  
ビュッ!!  
ビュッ!!

ウッ...  
グッ!



気持ち良かった  
だろっ?  
トコロ...

ビュッ!!  
ビュッ!!  
ビュッ!!

ど...  
ど...  
ど...



薬の力で勃起した  
ペニスが出出した  
老人の精液は...



苦い薬の  
味がした...

ペロッ



リオ様

次はこの衣装に  
おめしかえを...

ふふふ...  
今度はナースか...

お前は何を  
着せても似合うな



ククッ...

ヒクッ...

フッフッ...  
グッフッ...

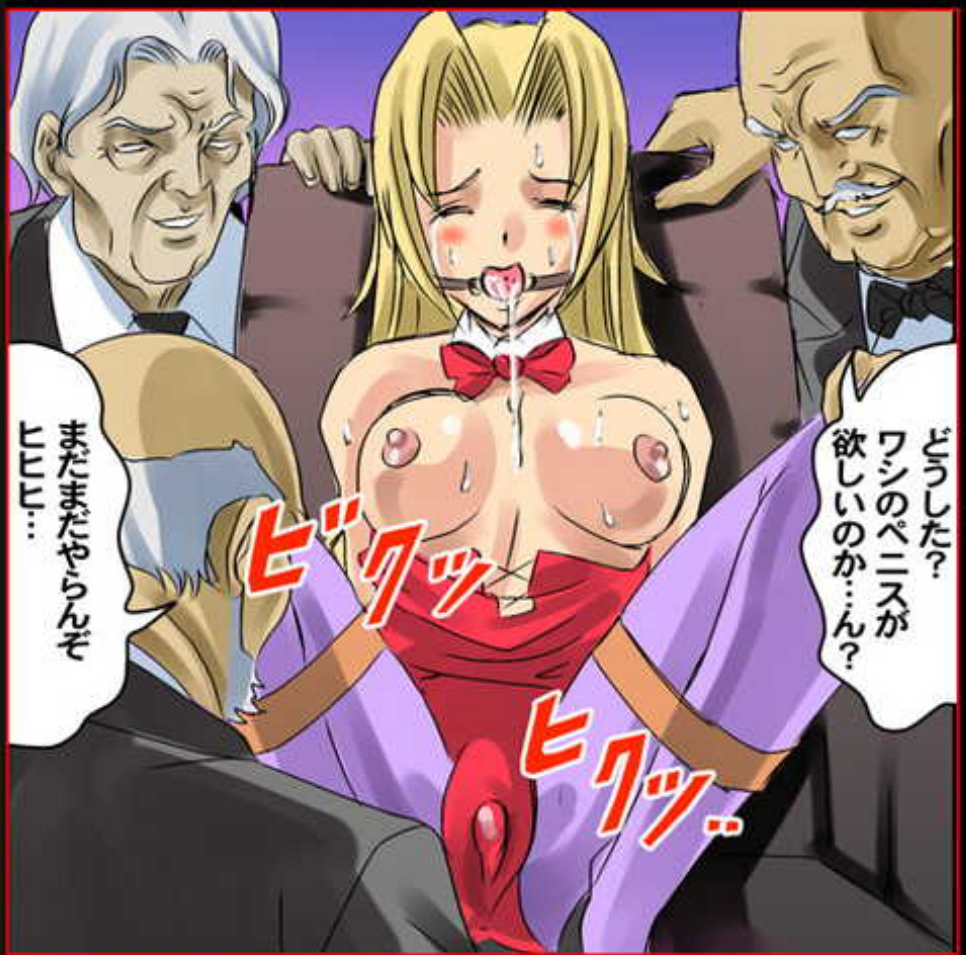
ヒクッ...





私たちを買う男たちの  
シユミはさまさまだ…  
どの男も遊びなれているためか  
だいたい特殊なプレイを要求  
される

ズブズブ…



まだまだやらんぞ  
ヒョコ…

どうした？  
ワシのペニスが  
欲しいのか…ん？

ヒクツ

ヒクツ…



その男はもはや  
少女でしか  
勃起しない

痛い  
よう！

コスチニュームプレイなんて  
あたりまえ…

痛い！

ツユツ！  
ツユツ！  
ツユツ！



おじさんの  
大きすぎて…

ハアツ…

ミニト  
壊れちゃうよ…



私は今日も  
お金のために…

どうだ気持ち良いか  
リオ？

肥満した老人の  
ふにやふにやな  
ペニスの上で  
腰を振る…

ツユポ

ツユポ

ヒニッ

気持ち良過ぎて  
死ぬと言え！  
死ぬ死ぬと言え！

ツユポッ!

ツユポッ!

私は感じている  
演技をしなから  
膣に力を入れ…

哀れな老人の  
ペニスから  
なけなしの精液を  
搾り取った…

ハアハア…  
お前のマンコは  
最高だぞ  
リオ〜!

ヒュッ!!

















ここにその硬いの  
入れて…

ドクンって  
出したいんでしょう？

クパッ…



ねえ…  
見て…

ズッ…



フフフ…でもあなた  
可愛いから…

ちょっとだけ  
サービス  
しちゃおうかな

ギョッ



ヒグッ…

ハッ…  
ハイッ！



でもダメ…

この穴はお金持ち  
専用の…

クスッ…





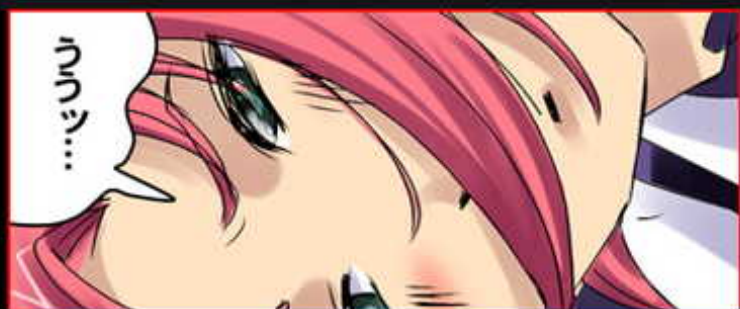
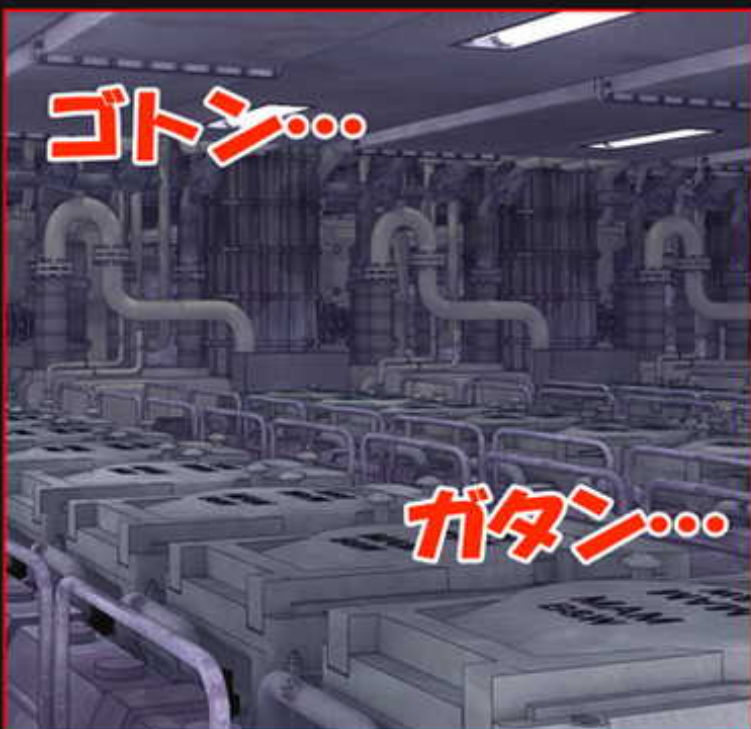
















下手に逆らうと  
ネットに流れ  
ちゃうぞ〜

へへへ〜  
こっちは準備  
万端なんだよ

へへっ…



あっ…あなたたち…

こんな事して  
タダで済むと思ってるの…

グッ…



ピンッ!

それじゃあまず  
貧乏人の汚いチンポを  
セレブ専用の  
そのお口でおしゃぶり  
してもらおうか



ギョッ!

なんだと  
この馬鹿  
淫蕩が!

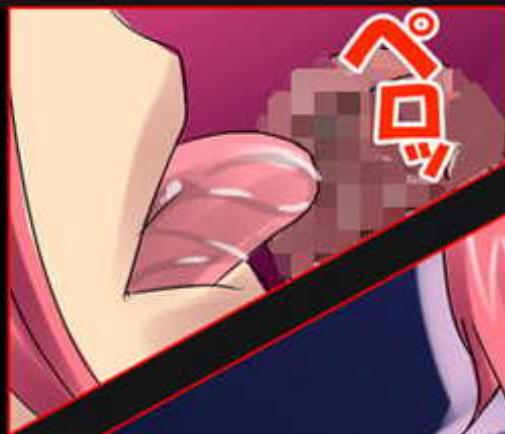
まだ自分の立場が  
分かってねえ  
みてえだな!



だ…誰が  
そんな汚いもの…

グッ…









へへへ…  
上手じゃねえか  
さすがは超高級  
娼婦だぜ



チンポが  
三度の飯より  
好きなんだよな

そりゃそうさ  
淫蕩なんだから

美味しそう  
にしゃぶる  
よね



オラッ!

しゃぶってる顔を  
もっと良く見せな!



いつも見下していた  
ゲスな男たちのペニス…  
異臭がするそれを  
ほおばると…

最近味わった事が  
無かった…  
熱く脈打つオスの血が  
私の舌にその生き生き  
とした脈動を伝える



口中を刺激する  
ペニスの熱い  
血潮…

この大きくて硬い  
モノで貫かれるのを  
想像しながら

チヌポツ…



クチツ…

私は無意識のうち



クチユキユ…

自分で自分を…



ああ気持ちいいせ  
りオ  
そうだ先端をもっと  
しゃぶりな…

ハアツ…

クキユツ…

クチツ…



おいおい…  
こいつオナニー  
してるぜ!

お姉さん  
本当に淫乱  
だよね



















男たちの目から見れば  
私は哀れな肉奴隷に  
見えていただろう…

ハウッ！  
凄く  
二本の  
チンポが

ツユポ  
ツユポ  
ツユポ  
ツユポ  
ツユポ

リオの中で  
擦れ合ってる  
よ〜！

しかし  
本当は…

あっち向きな  
…

仕上げに  
たっぷりと  
顔にぶっかけて  
やるからよ〜！

グッ

私の心は  
久しぶりに味わう  
心からの開放に…

ビュッ！！

喜びにふるえて  
いたのだ…









そうよ...

ゆっくり動いてね...

ジュッ  
ジュッ

ちよっと？  
リオさん！...何してるんすか！...もうすぐ式的时间ですよ！



ゴ...  
ゴ...



いいわよ  
あんな  
おじいちゃん  
いっぱい  
待たせとけば...

しょうがねえだろう  
ご主人様がこう  
言うんだからよ

ジュッポッ!  
ジュッポッ!



そんなことより  
あなたも早く  
チャックを降ろし  
なさい！







